



製品



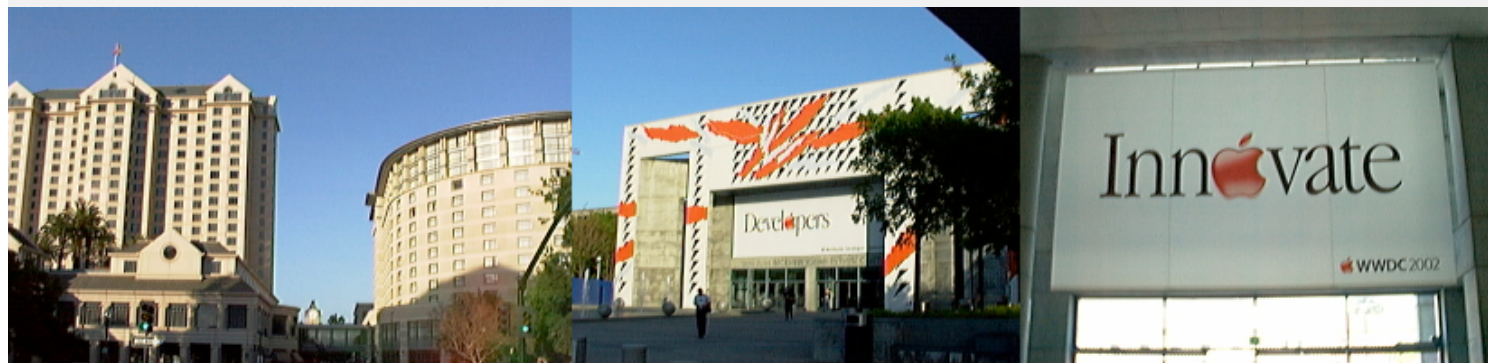
開発情報

会社案内

ニュース

07年実績

これまでの歩み



快技庵

2002年

WWDC2002レポート7

2008年ニュース

2007年ニュース

2006年ニュース

2005年ニュース

2004年ニュース

2003年ニュース

2002年ニュース

2002年12月のニュース

2002年11月のニュース

2002年8月のニュース

2002年6月のニュース

WWDC2002レポート1

WWDC2002レポート2

WWDC2002レポート3

WWDC2002レポート4

WWDC2002レポート5

WWDC2002レポート6

WWDC2002レポート7

2002年5月のニュース

2002年4月のニュース

2002年3月のニュース

2002年2月のニュース



無事帰宅

帰りの機内で『愛しのローズマリー』とまた『アメリ』を見てしまいました。揺れましたがそれほど遅れずに成田に到着しました。

成田から札幌への飛行機は動き出すと同時に寝てしまい離陸したのも気がつかない状態でした。

{^_^}

おかげさまで予定通り12日夜に無事帰宅しました。

写真追加

QuickTake200で撮影した写真を追加しました。

カードリーダーを持参しなかったため帰国後の作業となりました。

やはり画質に難がありますがご了承ください。

ちなみにQuickTake200は本来シリアルケーブルでMacと接続しますが、私はUSB接続のカードリーダーを使って直接スマートメディアを読み取っています。ただしQuickTake200のスマートメディアは5Vなので注意が必要です。私はラットックシステムのSMA03Fを使っています。この組み合わせならMac OS X対応でQuickTake200もiPhoto対応です。 (^_^)

WWDC2002の収穫

まず参加すると必ずもらえるものから。 (^_^)

会場で登録するともらえるカバンとその中身...

バッジ

WWDC2002のカバン

WWDC2002 Tシャツ

セッションスケジュール

InstallAnywhere from ZERO G (CDケース入りチョコ)

Mac OS X Developer Tools CD

THE OMNI GROUP DEVELOPER TOOLS CD

アップルロゴボールペン
WWDC2002ノート
Building Cocoa Applications 無料引換証



O'REILLYの Building Cocoa Applications

さすがに書籍は荷物になります。カバン自体もかさばりますが期間中は活躍します。今年はバックバックではなかったので私は使いませんでした。（デザインはともかく来年は「黒」以外の色を希望！）

O'REILLYのBuilding Cocoa Applicationsは展示のO'REILLYブースでもらえます。ノートはセッションをメモするのに活躍します。

直接Macにタイプする人も目立ちますが。

そのほかAppleから配付されたものは『JaguarのCD』もちろん私も受け取りました。

キーノートを含め24のセッションを聞きました。いろいろ今まではできなかった事ができるようになりそうです。

eMacの実物も見てきました。

個人的にはたくさんの皆さんにお世話になりながら情報収集と出会いの豊富な一週間でした。

WWDC2002をふりかえって

正直なところジャガーってあまり期待していなかったのです。事前に何も情報がありませんでしたし。

ところが発表されたJaguarは魅力的でした。キーノートの最中から冷静ではあったものの『わくわく』させられました。これまでは無理だったあんなことこんなことができるようになる！

このわくわくは個々のセッションを受けてさらに強くなりました。

Jaguar対応のソフトウェアが楽しみです。

さて落ち着いて考えてみるとWWDC2002はMac OS Xへの移行期から成長期へのターニングポイントのようです。

OSそのものは移行に伴うごたごたはまだあるもののそれらへの対応の目処もつき、移行のメリットを具体的な形で提示できたと考えられます。

3000ものアプリケーションが対応したとはいえ、ドライバの開発を待っている周辺機器もまだ多くフォントなどの要因も加わってMac OS Xを採用できないユーザーは少なからず残っている状況でしょう。

Mac OS Xの魅力を増し新しいハードウェアをたくさん売るためにサードパーティの協力が欠かせない事を知っているAppleは、世界的なIT不況など厳しい条件の中でなかなかうまくやっているように思えます。

キーノートの中では一言しか触れなかったラックマウントタイプのサーバマシンが予定通り5月14日に発表されました。サーバーでもハードもソフトも提供する強みを発揮できればクライアントとの相乗効果が期待できますね。

キーノートでもジョブズは随分『機密』を強調していましたがアップルのホームページに日本語の解説が既に載っていますね。

個人的に注目はHI Toolbox、Accessibility、Speechです。これらをうまくいかしたソフトウェアを早く開発したいと思います。

さて来年は

鬼が笑いますが来年の話です。

WWDC会場のSan Jose Convention Centerに直結するホテル（Marriott）を建設中でした。2003年の1月にオープンするそうです。直結ホテルとしてはヒルトンがありますが一度しか泊まった事ありません。やはり少しでも近くが便利なので来年のツアーはこのホテルだと助かります...



建設中のMarriott

WWDC期間中参加者にアップルからメールが届いていました。最終日のメールには2005年まで(!)のスケジュールがありました。

WWDC 2003: May 19-23, 2003

来年は日本の連休にはぶつかりませんね。

2002年5月16日

WWDC報告会

アップルとMOSAの共催でWWDCの報告会が6月3日に開かれます。詳しくは5月のニュースページをご覧ください。

[前のページへ](#)

[次のページへ](#)

快技庵

2002年

WWDC2002レポート7

Copyright (C) 2001-2008 KaigiAn, Inc. All Rights Reserved.